



＝より良い明日を目指して街づくり＝

（ただいま考え中！）

第59号 2020年11月

小田急金森泉自治会街づくり委員会

■自治会館用地の目途立つ

ふれあいもみじ館の北側を、自治会館用地として利用できるとの返答が市からありました。今回はこれまでの交渉経緯をお知らせします。

■会館をめぐるこれまでの経緯

●2013年4月（第42回総会）より具体的取組み始まる

- ・自治会館設立のための積立て資金が約〇万円となった。

●2014年5月 市の協力を得ながら実現を模索

- ・「市長と語る会」単独開催 市長他3名、自治会など10名が参加。
- ・空き家を活用できる仕組みづくりも要望した。
- ・市長回答：「市の所有地があれば無償提供する」

●2015～2018年度 市や空き家所有者等と交渉、いずれも不調

- ・域内や近隣の市公有地適地探し。
- ・ふれあいもみじ館耐震建替え時に自治会館併設構想あったが、耐震補強工事のみの実施で立ち消えに。
- ・空き家活用の市条例（2016年4月施行）に基づく書面による声掛け。
- ・空地の地主と直接交渉したが、「売却なら良いが、借地はしない」。

●2019年度 街づくり委員会にて各種の可能性調査実施、市へ再依頼

- ・自治会館の必要性（問題解決など）、機能、機器、規模（土地と建物）、建設資金計画、維持費など、様々な形での取得可能性の模索。
- ・2020年2月に入り、市へ候補地照会の再実施を依頼。

●2020年2月～3月 候補地について急展開

- ・市より「近隣市所有地2箇所」と「ふれあいもみじ館敷地内」の候補地紹介あり。後者にしぼり検討を依頼。

【街づくりに関するお問い合わせは】 2班 船橋

tel：042(795)9423/E-mail：adn75950@rio.odn.ne.jp へお願いします。

- ・ 3月19日に市より、可能な場所があれば提供できるとの回答。
併せて、現状図面、市内部手続き、市補助制度、今後の進め方など要点説明あり。
- ・ 建築希望場所を図面で市へ提出の指示を受け、街づくり委員会で着手。

● 2020年3月末～4月 建築希望位置の検討と提示

- ・ 資料や現地の調査：法務局資料入手、専門家への聞き取り、現地観察と簡単な計測等を実施。
- ・ 建物規模の目安検討：25～30坪程度とした。
- ・ 敷地内の位置の検討：南側案と北側案を抽出し、特徴整理
- ・ 4月9日「南側案」を市に提示。

● 2020年6月17日 市、ふれあいもみじ館の南側案に難色

- ・ ふれあいもみじ館の主管部署のいきいき生活部高齢者福祉課長も同席し、意見交換
- ・ 市は将来、わさび田公園や保育園と一体開発の可能性を残したい。
- ・ 南側案は、記念植樹や施設正門前となり避けたい。北側ならばふれあいもみじ館との制約が少なく実現性が高い。

● 2020年7月15日 市紹介のアドバイザーが参画

会館建築に向けた手続き・注意点の説明を受ける

- ・ NPO法人顧問建築家機構：集会施設整備を市の補助制度で行う際のアドバイザー
- ・ 自治会内の合意形成：非常に重要、情報発信と要望集約。意志決定は総会で。事業実行組織の立上げ、用途、施設、資金計画等を決める。
- ・ アドバイザーとの契約（両期とも費用発生）
 - 一期：委員会参加で計画案作成～申請書提出までの支援
 - 二期：市の事業計画承認を受けて、設計者や施工者選定支援
- ・ 個別案件：場所が決まったら一期契約だが、申請機会は年一回

● 2020年9月28日 アドバイザー、北側案に可能性あり

- ・ 敷地の面積や形状としては、建築可能としつつ、市が地下埋設物の確認を行い、建築制約を解消した上での土地提供が可能か要検討。

● 2020年10月23日 市による現地調査

- ・ 敷地境界、電気や雨水の地下埋設物の有無や位置など調査。

● 2020年10月27日 市、北側に建築可能との見解示す

次号へ続く